

	令和6年7月19日(金) 発行 江南市立古知野北小学校 江南市和田町宮145番地 TEL 0587-56-2274 FAX 0587-56-2924
	ホームページ 古知野北小学校 検索

太陽の日射しはより一層強くなり、早いもので1学期終業式を迎えました。1学期72日間、学習や行事を通して、子どもたちはたくさんのことを経験し成長してきました。

さて、江戸時代の儒学者である新井白石のエピソード「一粒の米」を紹介します。有名な話ですから、ご存じの方もいるかもしれません。新井白石は子どもの頃に父親から言われたことが、「米びつから一粒の米を取り出しても、米びつの量はほとんど変わらない。しかし、毎日一粒ずつ米を取り出していると、長い年月をかけて米びつの量は減っていく。勉強も同じで、一日だけ勉強したからといって、すぐに賢くなるわけではない。一日怠けたからといって愚かになるわけではない。しかし、毎日コツコツと続ければ、必ず力になる」という内容です。

子どもたちにとって楽しみな44日間の「夏休み」に入ります。夏休みは、勉強や運動以外にも、様々なことに挑戦できる絶好の機会です。夏休みを通して、毎日何か一つでも良いので、継続できることを見つけて取り組むとよいですね。

自転車の乗り方について

いよいよ夏休みとなりますが、子どもたちが安全に夏休みを過ごせるよう、自転車のマナーについて改めて取り上げさせていただきました。近年、自転車による事故が全国的に増加しており、特に夏休み期間中は、子どもたちだけで自転車に乗る機会が増えるため、より一層注意が必要です。自転車の乗り方について、ご家庭で周辺の道路を例にお話をさせていただきますようお願いいたします。

□■□ 自転車のマナー (主なもの) ■□■

1. ヘルメット着用

ヘルメット着用は、万が一事故に遭った際に頭部を守り、重症化を防ぐために大変重要です。必ずヘルメットを着用しましょう。

2. 安全確認

発進、停止、方向転換をする前に、必ず周囲の安全を確認することの重要性を強調しましょう。目視だけでなく、耳を使って周囲の音にも注意しましょう。

校区内には見通しの悪い交差点が多くあります。必ず止まって安全確認しましょう。

3. 歩行者への配慮

歩行者は車よりも弱いため、常に歩行者に譲るようにしましょう。また、狭い道では徐行し、歩行者の通行を妨げないようにしましょう。

4. その他のルール

スピードの出すぎ、二人乗り、傘さし運転などの危険な行為は絶対にしないようにしましょう。

◇自転車マナーに関する資料



【自転車安全利用啓発リーフレット】



【親子で学ぼう 安心して楽しい自転車の乗り方 (動画)】

5年生6年生「ネットモラル教室」

(2)

5日(金)講師をお招きして、ネットモラルについてお話を聞きました。普段インターネットを利用したり、SNS等を利用してお互いに連絡し合ったりすることが増えてきます。文字だけで相手とやり取りする際に、相手の受け取り方で傷つけることがあることや、無料という言葉で簡単に個人情報や相手を相手に伝えないようにすることなど、具体的な話をもとに教えていただきました。

今回、インターネットやSNSの便利さと危険性について学びました。ご家庭においても、インターネットやSNSの利用についてご確認いただき、お子さんにとって安全で有意義なものとなりますようお願いします。



グループの利用の約束 →



6年生「ういてまて」

8日(月)江南市消防署員の方をお招きして、川や海でおぼれたときの対応について学びました。消防署員より、水に浮かんだ時に水面より上に体が出せるのは体全体の2%程度です。しかし、声を出すために無理に顔を出したり、手を振ったりすると呼吸を確保するための口や鼻が水面に沈んでしまい、おぼれてしまうこととなります。そのため、もしもの時に消防署の方が来るまでの間「ういてまて」という方法を学びました。

また、おぼれた人を発見したときは、すぐに119番へ通報するとともに、ペットボトルなど浮きそうなものを投げて渡し、落ち着いて浮いて待つように伝え、消防署員が到着するまで励まし続けるとよいことも教えていただきました。



8・9月の予定

7月19日(金)	1学期終業式
8月19日(月)	全校出校日
9月2日(月)	2学期始業式-斉下校 13:15
3日(火)	委員会
5日(木)	わんぱく団の読み聞かせ
9日(月)	古北っ子集会
10日(火)	あいさつの日 クラブ
12日(木)	わんぱく団の読み聞かせ
17日(火)	委員会
18日(水)	月曜日課 5時間授業
19日(木)	わんぱく団の読み聞かせ
20日(金)	5時間授業
24日(火)	クラブ
26日(木)	就学時健康診断 4時間授業 斉下校 12:55
30日(月)	朝礼

- ※ 予定を変更する場合があります。
- ※ 夏休み中のプール開放はありません。

(6/27 朝日小学生新聞より抜粋)

夏になると、連日水辺での事故が起こります。警察庁によると、年間約1600人が事故にあい、約800人が亡くなるそうです。事故が起きる場所の約5割が海、約3割が川です。厚労省の調査では、事故にあう年齢は7歳と14歳が多くなっています。おぼれた経験のある人の半数は25m以上泳げたことも分かりました。

日本ライフセーバーの方は、「プールと海や川では環境が違います。海や川では浮いていようとしても水が顔にかかり、浮き続けられない。泳ぎが上手でも危険です」と指摘しています。

※次回は、10月24日号の発行予定です。

右の二次元コードから、データで通信をご覧いただけます。→

